

I. 調査要領

1. 調査時点及び調査対象期間

- (1)調査時点 2023年4月1日
(2)調査対象期間 2023年1月～3月期の実績および2023年4月～6月期の見通しについて調査した。

2. 調査対象

当所会員企業を対象に、商業・食品業部会、水産業部会、機械工業部会、建設業部会、観光・サービス業+諸業部会より各30社、計150社を抽出し郵送により調査した。

3. 回収状況

	対象企業数	回答企業数	回答率
商業・食品業部会	30社	12社	40.0%
水産業部会	30社	16社	53.3%
機械工業部会	30社	15社	50.0%
建設業部会	30社	22社	73.3%
観光・サービス業+諸業部会	30社	15社	50.0%
合計	150社	80件	53.3%

注) 本調査結果の中で、「D・I」値とある記号は、ディフュージョン・インデックス（景気動向指数）の略で、各調査項目についての増加（好転・上昇）企業割合から減少（悪化・低下）企業割合を差し引いた値（景気動向指数）を示す。

Ⅱ. 概 況

－平成 29 年度第 3 四半期以来のプラスへ改善。次期はコスト増により厳しい見方－

1. 全体の動き(業況)

四半期毎に実施している中小企業景況調査の**今期(2023(令和5)年1月～3月)の全業種平均業況判断DI値**(「好転」と答えた企業と「悪化」と答えた企業の割合の差)は**1.2**となり、前年同期(R4.1～3月 ▲10.1)と比べると、**11.3ポイント改善**し、DI値0.0であった平成29年度第3四半期以来でマイナスの値から脱却しました。

部会別にみると、商業・食品業[前年DI値▲56.3→**今期▲8.3**]、水産業[前年DI値42.9→**今期6.3**]、機械工業[前年DI値21.4→**今期▲13.3**]、建設業[前年DI値12.5→**今期9.1**]、観光・サービス・諸業[前年DI値▲52.6→**今期6.7**]となりました。

今回の調査では、新型コロナウイルス感染症に係るマスク着用が個人の判断に委ねられるなど、感染対策の緩和や「まん延防止措置」等、行動制限がなかったことにより人流が増加し、コロナ禍で大きな打撃を受けた観光・サービス業・諸業では大幅に改善し、好転しました。また、商業・食品業においても全市民へ配布された「消費拡大クーポン券」により消費が刺激され、マイナスながらも回復傾向となっています。また、ふるさと納税の返礼品として海産物が注目を浴びている水産業や、市営住宅の建設や紋別市の商業環境整備促進助成制度の活用による各店舗の改修工事などにより業況が好調な建設業により、業況が大きく好転しました。

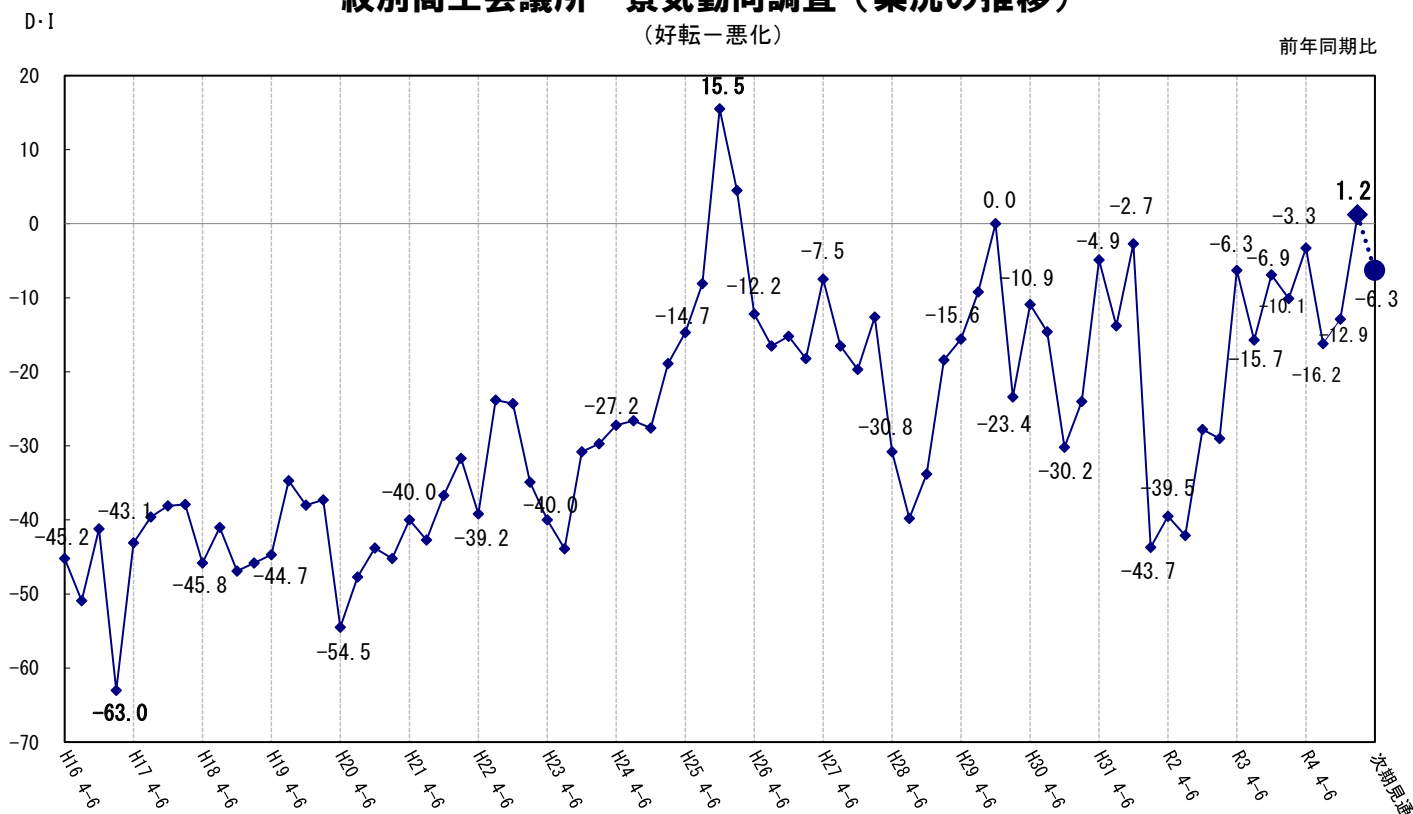
一方で、原油等の資源価格や原材料価格の高騰に続き、食料品などの生活必需品も相次いで値上げが予定されており、4月以降の工事で使用する資材を3月中に発注するなど、各企業でも対策を行っています。

来期(2023年4月～6月)については、**業況判断DIが▲6.3と再び悪化する**との慎重な予測となっています。

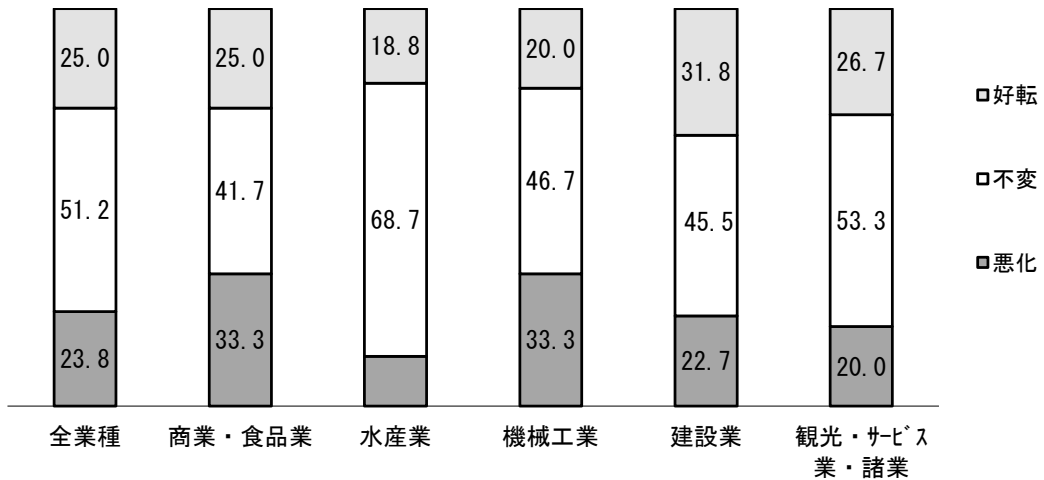
紋別商工会議所 景気動向調査(業況の推移)

(好転－悪化)

前年同期比



今期の業況（前年同期比）



全業種の経営上の問題点としては、これまでの「従業員・熟練従業員の確保難」に代わり、「原材料・材料価格の上昇」を訴える声が多くなっています。

■部会別の動向

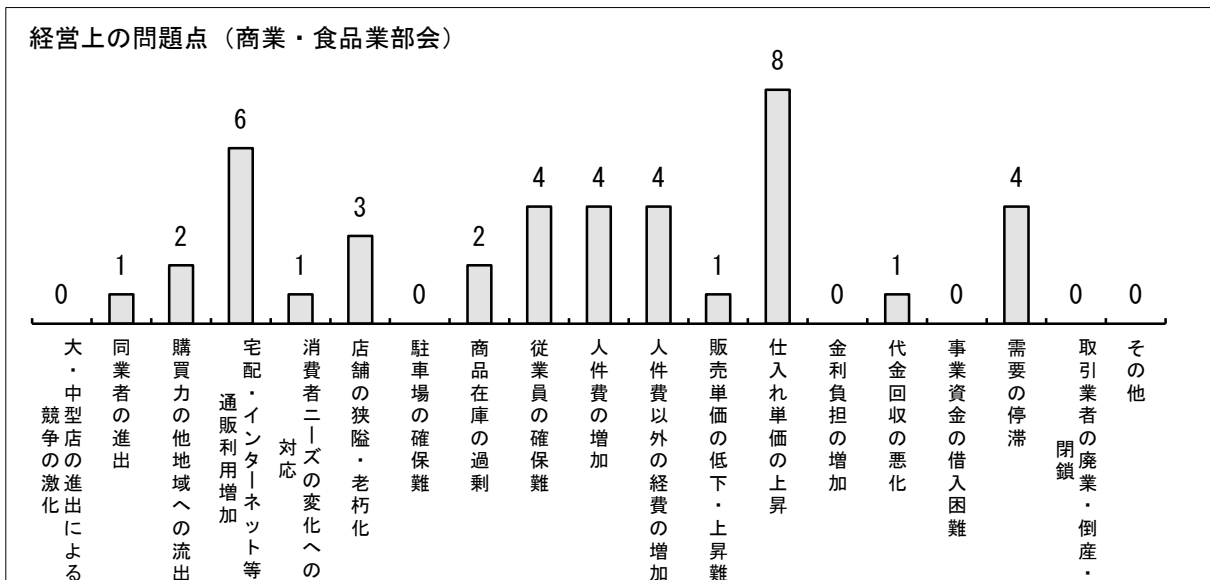
【商業・食品業部会】〔業況判断DI値（前年同期比）▲8.3（前年DI値▲56.3、来期見通し▲25.0）〕

業況判断DI値（前年同期比）は、前年同期と比べ48ポイントの大きく改善しました。

エネルギー価格や様々な物価の高騰により、困窮する家計の一助として紋別市民へ配布された「消費拡大クーポン券」による消費喚起の他、マスク着用ルールといった新型コロナウイルスの感染対策が緩和され、人流の回復による消費活動も活発化しています。一方で、インターネットでの買い物がより便利になったことによる購買シーンの変化が実店舗への来店機会を停滞させている事への懸念も寄せられています。次期は再び悪化するとの回答が多く、経営上の問題点として「仕入単価の上昇」「宅配・インターネット等通販利用増加」を訴える声が多く寄せられています。

《業界の問題点等》

- ・客数減（医薬品・化粧品小売業）
- ・コロナ以降メーカーが生産調整しているため、商材確保難しい。60%ほどしか入荷しない（衣料品等小売）

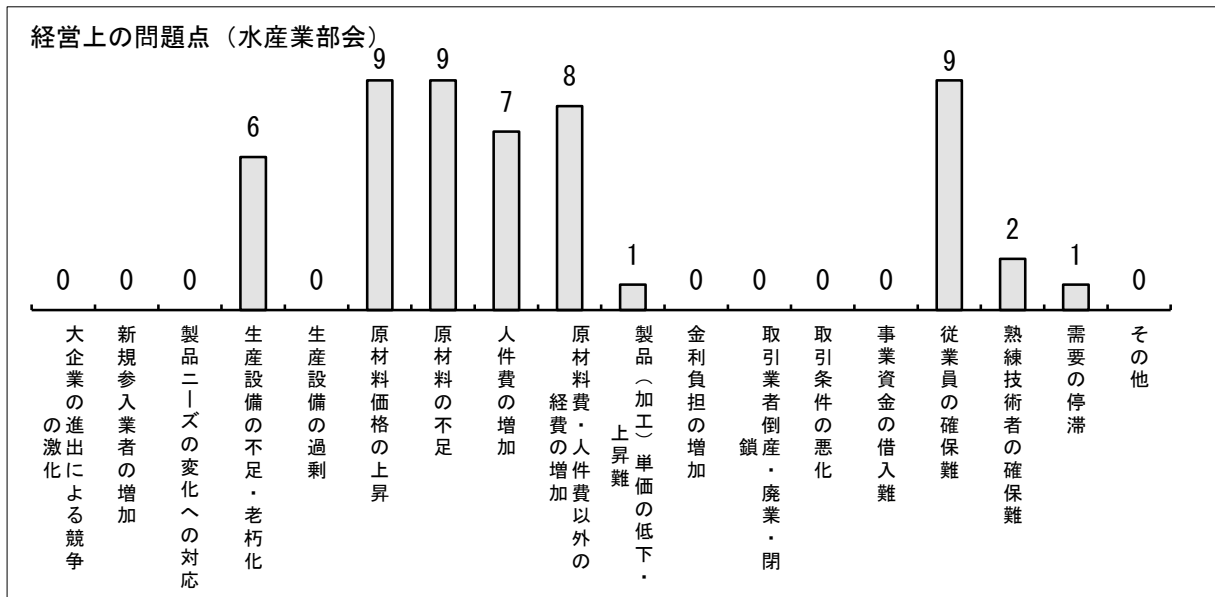


【水産業部会】〔業況判断DI値（前年同期比）**6.3**（前年DI値42.9、来期見通し0.0）〕

業況判断DI値（前年同期比）は36.6ポイント減退しましたが、以前プラスの値を示しております。紋別市へのふるさと納税が依然として好調であることから、水産製品をはじめとした紋別産品への注目度も増えています。一方で、温暖化の影響によって水揚げされる魚種に変化が出てくるなど、原料確保への懸念や、人手不足を訴える声が依然として多くなっています。次期の業況見通しは0.0となり、盛漁期を迎えて今期同様の業況が期待されています。経営上の問題点としては「従業員の確保難」、「原材料の不足」「原材料価格の上昇」を訴える声が多くなっています。

《業界の問題点等》

- ・ 慢性的人手不足（水産加工業）
- ・ 人手不足、従業員の高齢化（水産加工業）



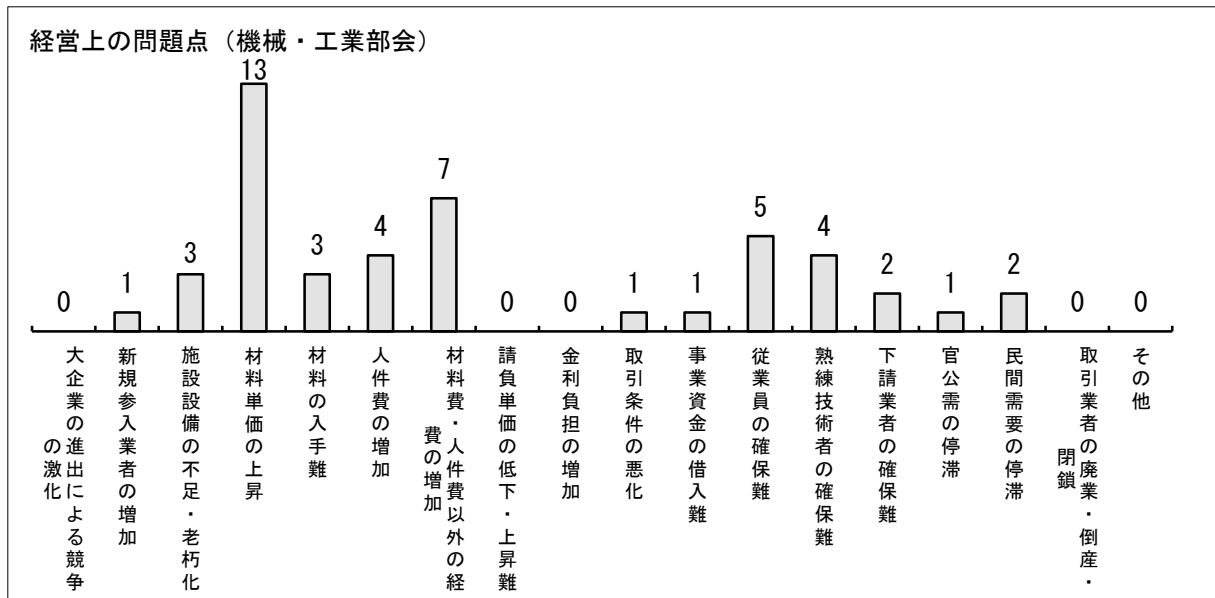
【機械工業部会】〔業況判断DI値（前年同期比）**▲13.3**（前年DI値21.4、来期見通し**▲40.0**）〕

業況判断DI値（前年同期比）は、34.7ポイント悪化しました。梱包資材を取り扱う業種や印刷業でも業況が上向いたとの回答もあり、業況が好調な水産業を始め、会合やイベントの復活による効果も要因として考えられます。原材料やエネルギー価格の高騰等によるコスト増や人手不足、度重なる仕入価格の上昇に採算悪化を訴える声も多く寄せられています。

次期の業況見通しは**▲40.0**と更に厳しい見通しとなっています。経営上の問題点としては「材料単価の上昇」を訴える声が特に多くなっています。

《業界の問題点等》

- ・ 仕入の高騰、あらゆる生活物価の値上げ等に伴う官・民の需要の停滞や経費が増大し、利益が生まれません。世の中での景気回復を望みたいものです。（資材等製造）



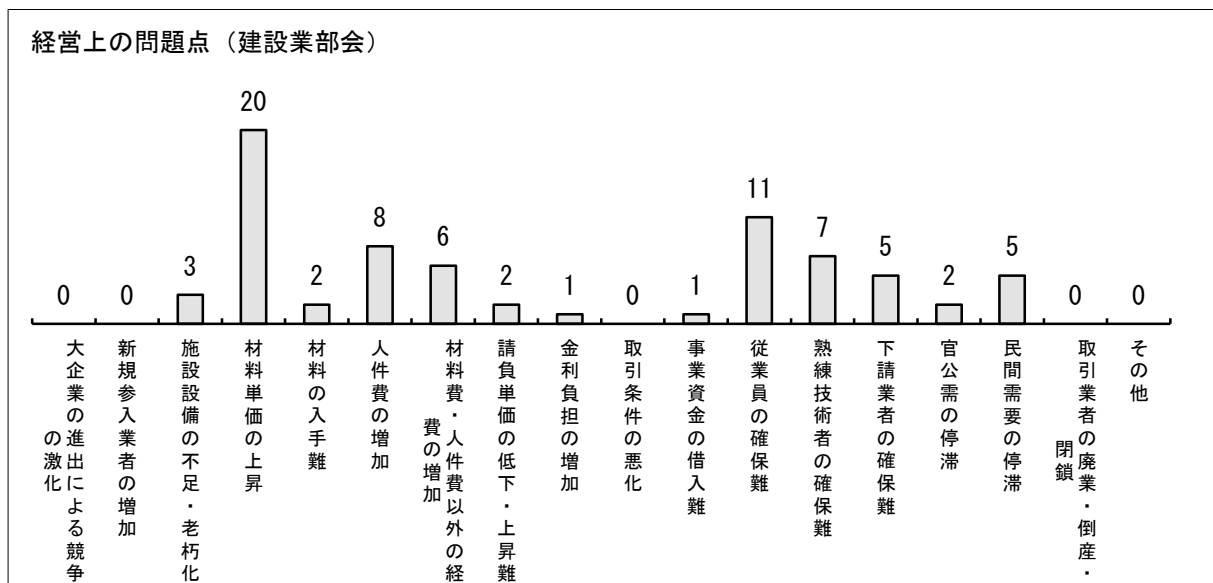
【建設業部会】 [業況判断DI値（前年同期比）9.1（前年DI値12.5、来期見通し13.6）]

業況判断DI値（前年同期比）は3.4ポイント減退しましたが、以前堅調な業況判断となりました。電気工事や建材、土木工事の一部では好調を示す回答が多く寄せられる一方で、エネルギーや仕入価格の高騰により、採算面での不安や熟練技術者の高齢化、慢性化している人手不足により、受注への対応遅れなどを訴える声も寄せられています。

次期見通しはDI値が13.6と、これから徐々に繁忙期への期待を込めた見通しとなっています。経営上の問題点としては「材料単価の上昇」を訴える声が多くなっております。

《業界の問題点等》

- ・冬期の仕事が少ない（土木工事業）
- ・従業員不足。ハローワークからのTELなし。（配管工事業）
- ・全国的に同じと思われますが、人材（技術者・作業員等）の不足（土木工事業）
- ・資材の高騰、利幅が無い等（電気工事業）



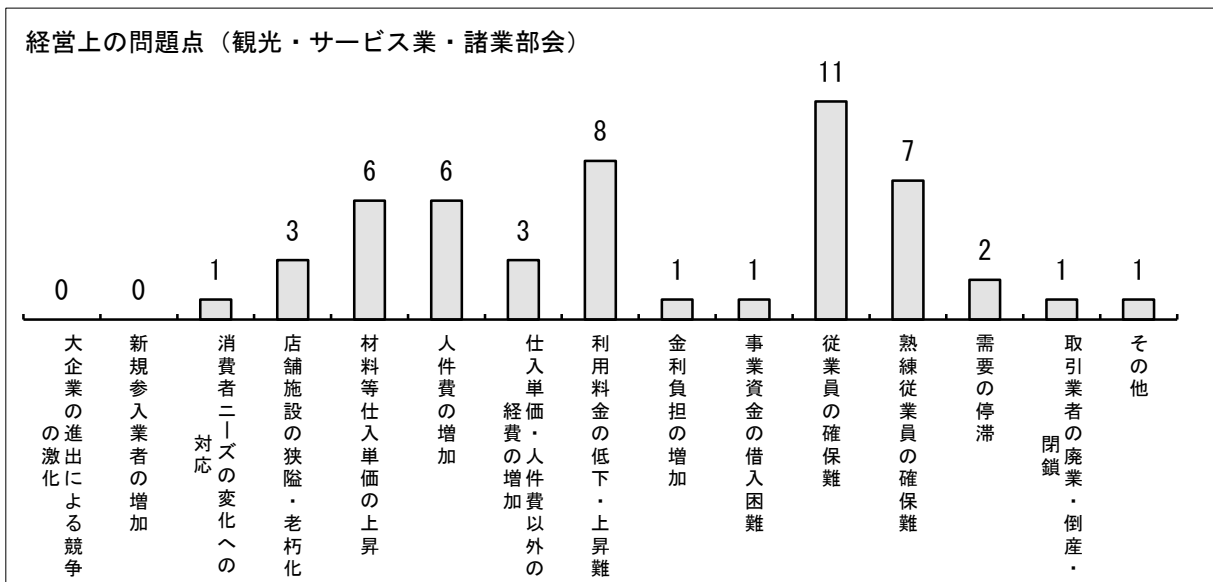
【観光・サービス業・諸業部会】〔業況判断DI値（前年同期比）6.7（前年DI値▲52.6、来期見通し6.7）〕

業況判断DI値（前年同期比）は前年よりも59.3ポイントと大幅に改善しました。前年同期には「まん延防止等重点措置」が発令され、営業制限などにより飲食店や宿泊業を中心に大きな影響を受けていましたが、今期は行動制限がなかったことに加え、マスク着用ルールの緩和などにより客足が回復したほか、外出機会の増加でおしゃれ着の手入れなど、クリーニング業でも利用者の回復により改善となりました。しかしながら、介護福祉関連では、在宅高齢者による利用者が他界などにより激減し、業況は厳しいとの声も寄せられています。

次期は業況DI値が6.7と、新型コロナウイルスが感染法上2類から5類へ移行することから、業況回復への期待感が込められています。経営上の問題点としては、「従業員の確保難」と「利用料金の低下・上昇難」と、利用者の財布の紐が固くなっている様子が窺えます。

《業界の問題点等》

- ・人口減少による、利用者の減少、従業員確保難（旅客運送業）
- ・従業員の確保が一番の問題点。人手不足により、上向き傾向にならない（旅客運送業）
- ・人材確保難、最低時給の高騰（クリーニング業）
- ・紋別市内でのコロナが増えた影響なのか亡くなる人がとても多かった。それに伴い、施設が空き在宅の利用者が急激に減った。突然亡くなる方も多く、こんな年は今までにないくらいでした。（介護福祉業）



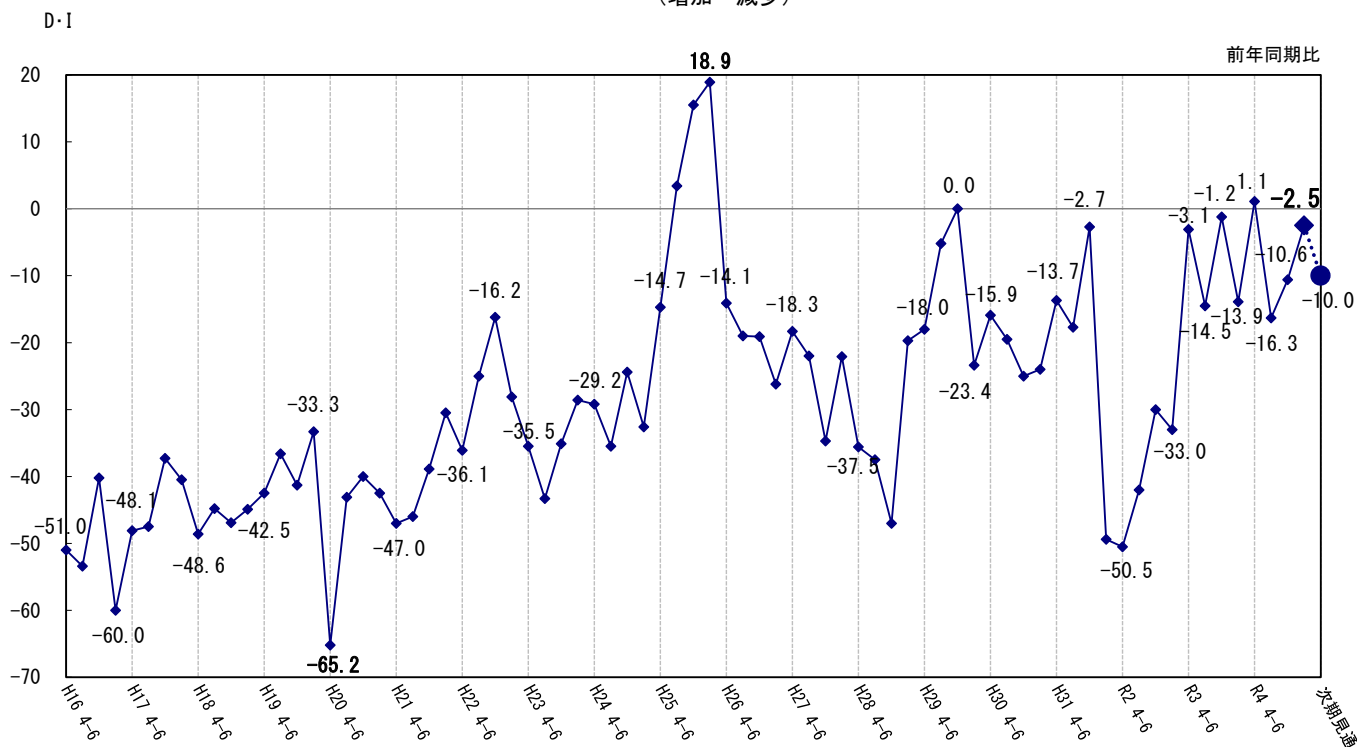
2. 今期の動向

(1) 今期の売上高・生産高

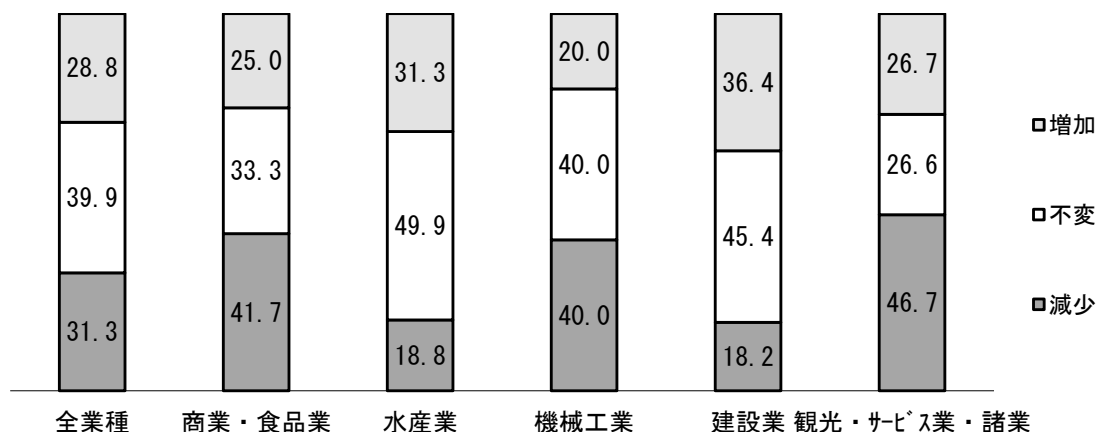
【前年同期比】（2022（令和4）年1月～3月期の水準と比較した今期の売上高）

売上高・生産高推移（全業種平均D・I）

（増加－減少）



今期の売上高・生産高（前年同期比）



全業種平均でDI値▲2.5〔前年同期（令和4年1～3月期 ▲13.9）より11.4ポイント回復〕、水産業は好調を維持し、商業・食品業、建設業、観光・サービス・諸業が回復。機械工業が大幅な悪化。

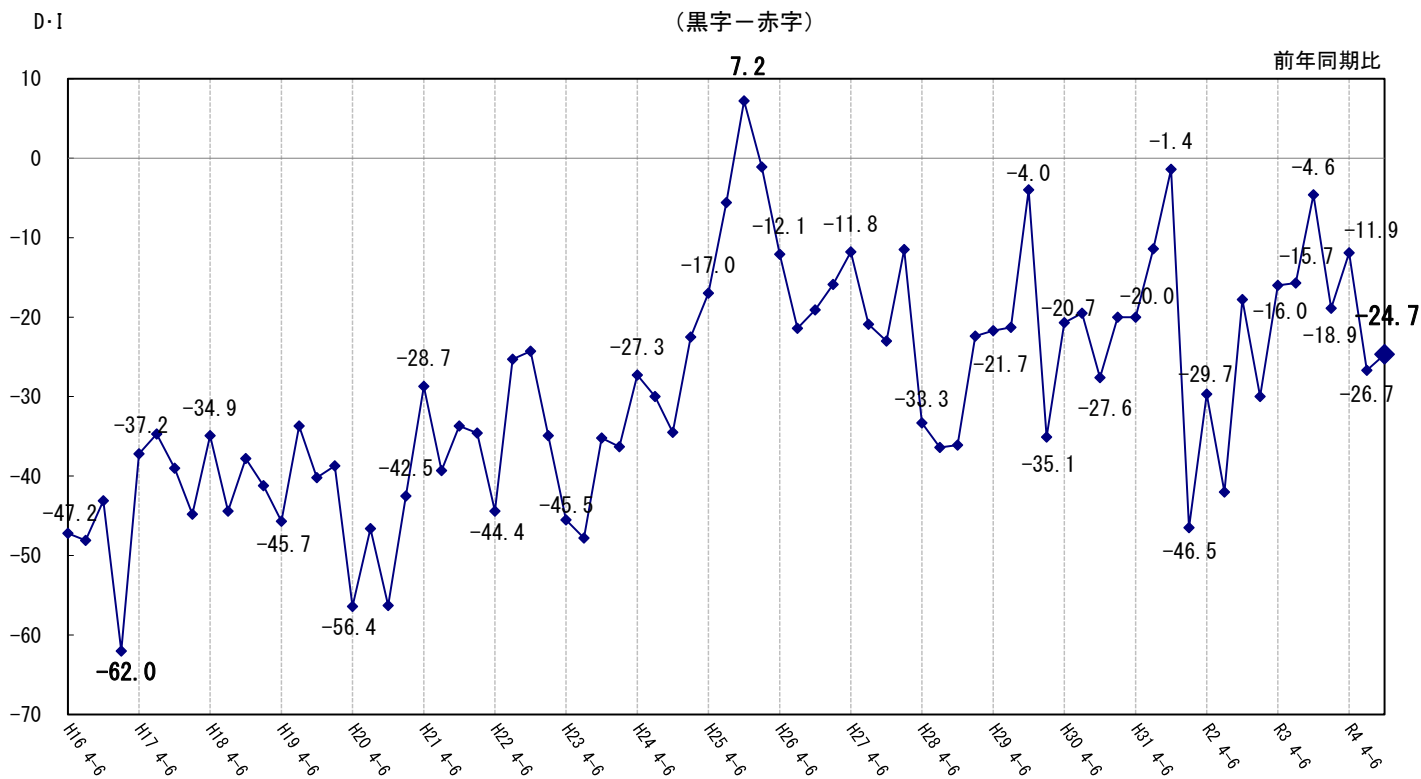
〔部会別DI値〕 商業・食品業〔前年▲37.5→▲16.7〕、水産業〔前年28.6→12.5〕
 機械工業〔前年7.1→▲20.0〕、建設業〔前年0.0→18.2〕
 観光・サービス・諸業〔前年▲52.6→▲20.0〕

(2) 今期の採算

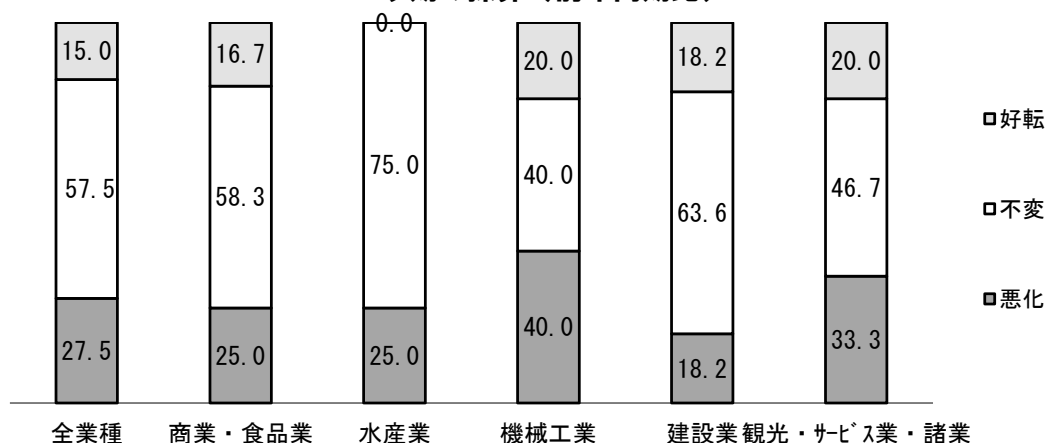
【前年同期比】（2022（令和4）年1月～3月期の水準と比較した今期の採算水準）

採算推移（全業種平均D・I）

（黒字－赤字）



今期の採算（前年同期比）



全業種平均でDI値▲12.5〔前年同期（令和4年1～3月期 ▲18.9）より6.4ポイント悪化〕
商業・食品業、観光・サービス業・諸業が回復。水産業と機械工業が悪化。

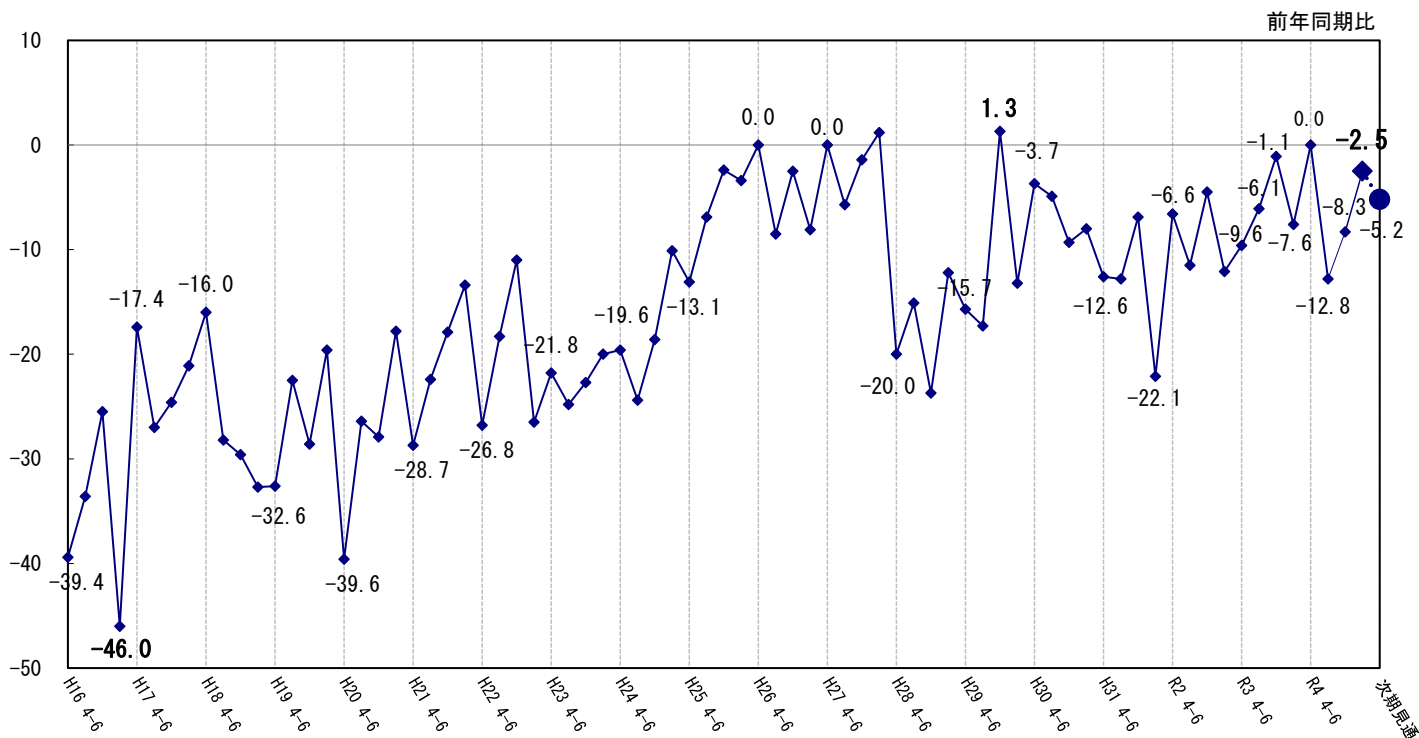
〔部会別DI値〕 商業・食品業〔前年▲50.0→▲8.3〕、水産業〔前年28.6→▲25.0〕
機械工業〔前年0.0→▲20.0〕、建設業〔前年0.0→0.0〕
観光・サービス業・諸業〔前年▲57.9→▲13.3〕

(3) 今期の資金繰り

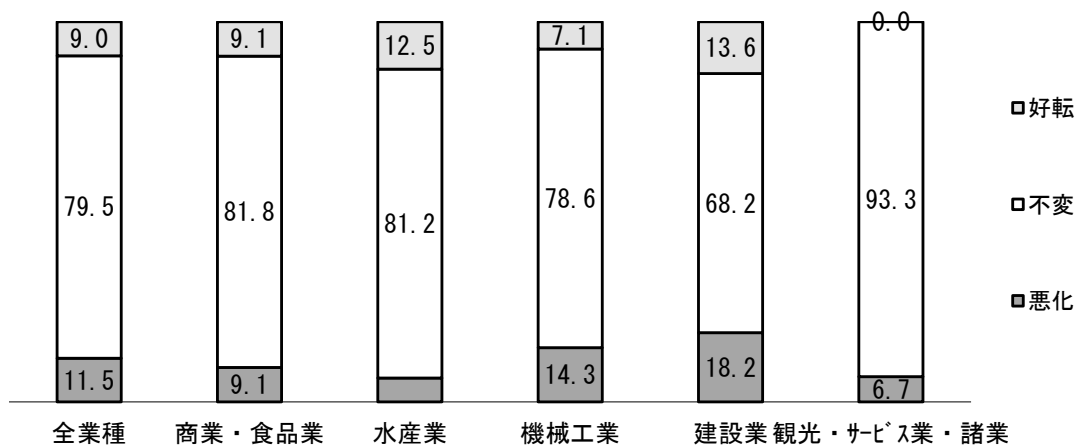
【前年同期比】（2022（令和4）年1月～3月期の水準と比較した今期の資金繰り）

資金繰り推移（全業種平均D・I）

（好転－悪化）



今期の資金繰り（前年同期比）



全業種平均でDI値▲2.5〔前年同期（令和4年1～3月期 ▲7.6）より5.1ポイント回復〕
商業・食品業、観光・サービス業・諸業が回復。機械工業、建設業が悪化。

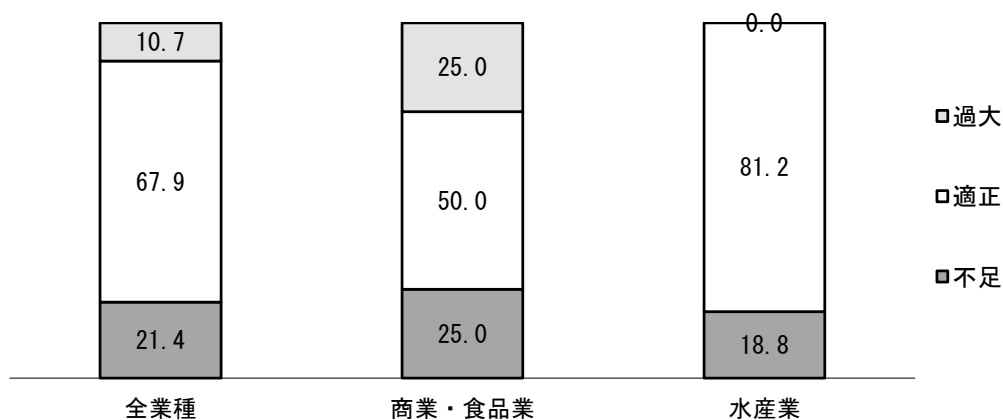
〔部会別DI値〕

商業・食品業〔前年▲31.3→0.0〕、水産業〔前年14.3→6.2〕
機械工業〔前年0.0→▲7.2〕、建設業〔前年6.3→▲4.6〕
観光・サービス業・諸業〔前年▲21.1→▲6.7〕

(4) 今期の在庫水準

【前年同期比】（2022（令和4）年1月～3月期の水準と比較した今期の在庫水準）

今期の在庫水準（前年同期比）



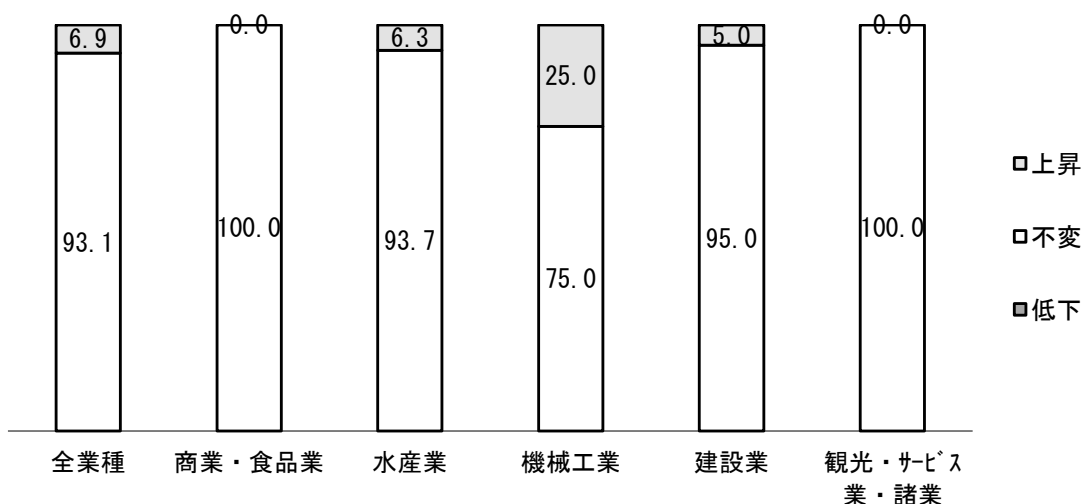
全業種平均でDI値▲10.7〔前年同期（令和4年1～3月期 6.7）より17.4ポイント不足傾向〕
水産業で不足傾向となった。

〔部会別DI値〕 商業・食品業〔前年▲6.3→0.0〕、水産業〔前年21.4→▲18.8〕

(5) 今期の借入金の金利水準

【前年同期比】（2022（令和4）年1月～3月期の水準と比較した今期の借入金の金利水準）

今期の借入金水準

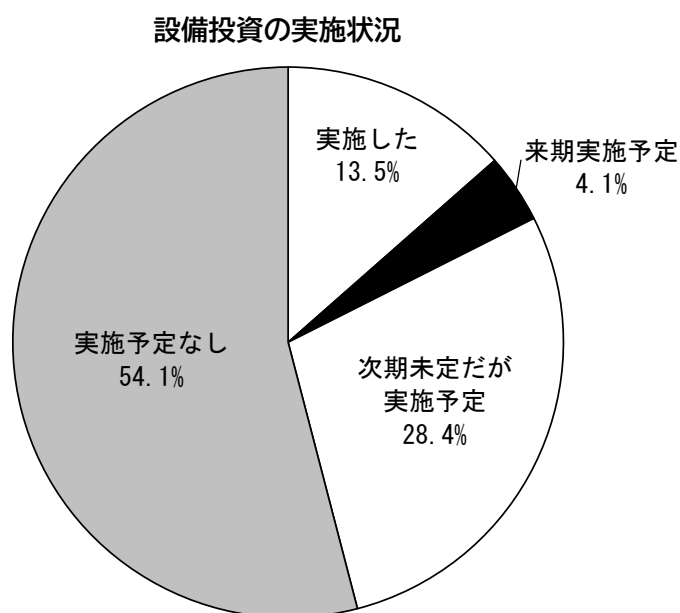


全業種平均で6.9。前年同期（令和4年1～3月期 1.3）よりも5.6ポイント上昇したが、基本的には大きな変動は見られない。

〔部会別DI値〕 商業・食品業〔前年0.0→0.0〕、水産業〔前年0.0→6.3〕
機械工業〔前年14.3→25.0〕、建設業〔前年0.0→5.0〕
観光・サービス業・諸業〔前年▲5.3→0.0〕

(6) 設備投資の実施状況

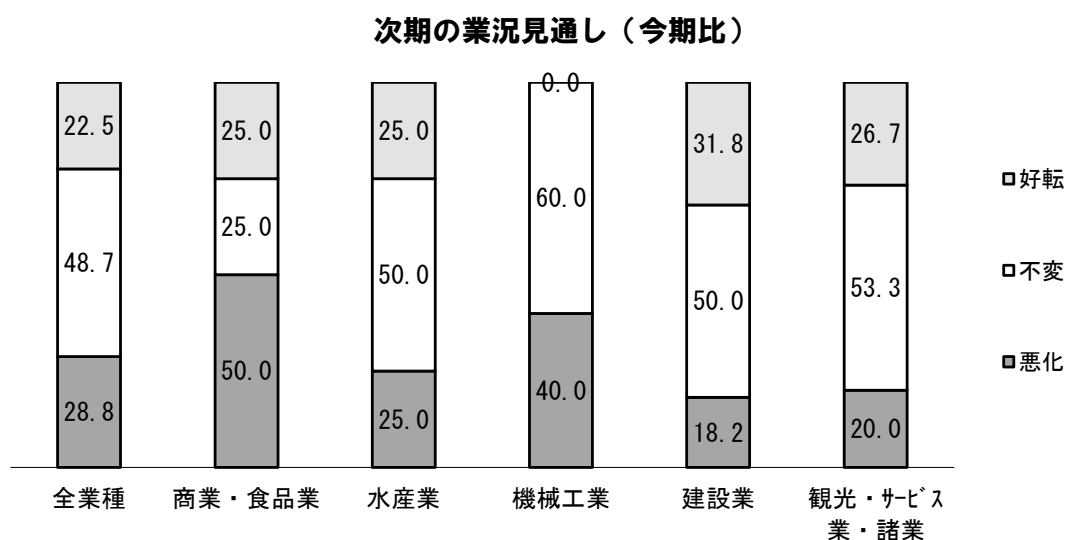
今期の店舗・社屋・工場等への設備投資実施状況について



3. 来期の見通し

(1) 来期の業況

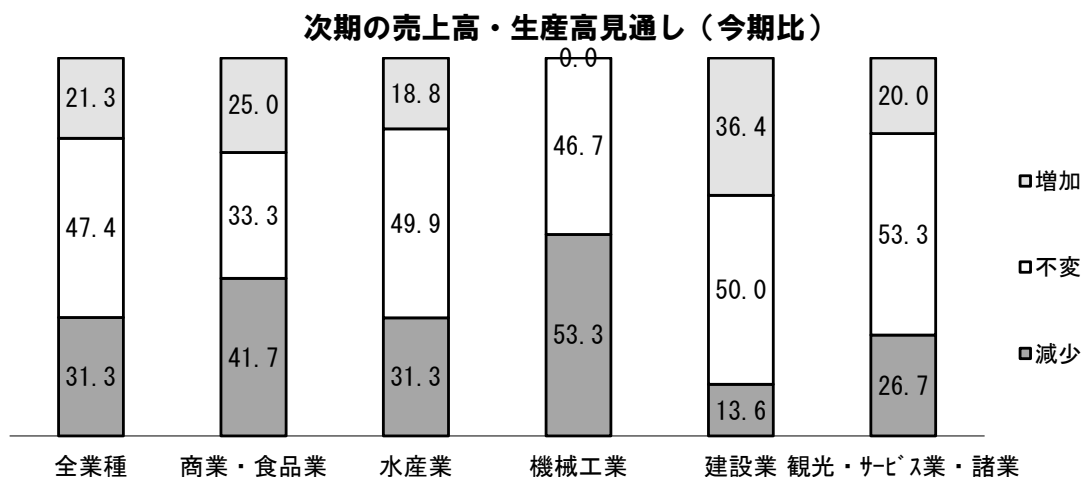
【今期比】(2023(令和5)年1月～3月期の水準と比較した来期の業況見通し)



全業種平均DI値▲6.3 [今期の業況(前年同期比1.2)より7.5ポイント悪化の見通し]

(2) 来期の売上高・生産高

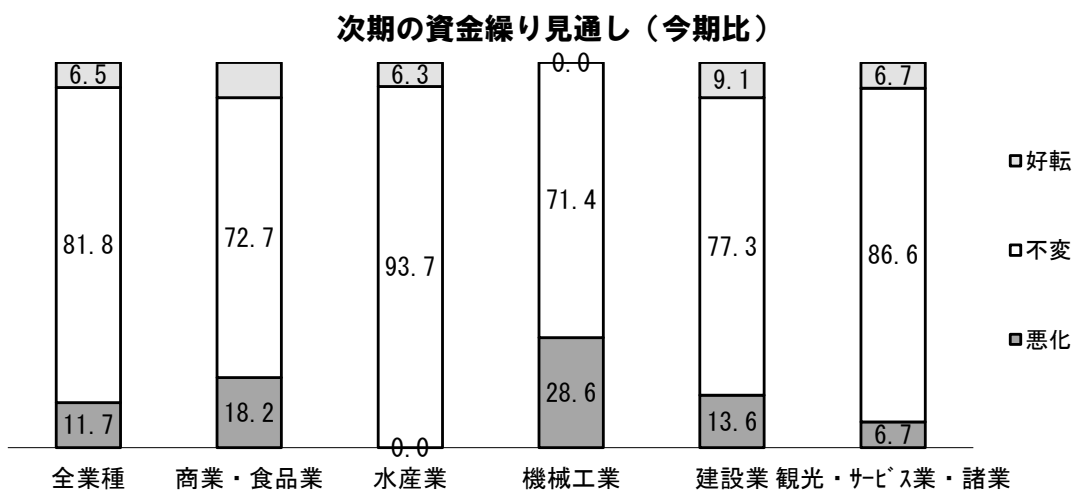
【今期比】（2023（令和5）年1月～3月期の水準と比較した来期の売上高・生産高見通し）



全業種平均 DI 値 ▲10.0 [今期の売上高・生産高（前年同期比▲2.5）より 7.5 ポイント悪化の見通し]

(3) 来期の資金繰り見通し

【今期比】（2023（令和5）年1月～3月期の水準と比較した来期の資金繰り見通し）



全業種平均 DI 値 ▲5.2 [今期の資金繰り（前年同期比▲2.5）より 2.7 ポイント悪化の見通し]

Ⅲ. 各 指 標

		全 体	商 業 食品業	水産業	機械工業	建設業	観光サービス業 ・諸業
業況判断 D・I	今期実績	1. 2	▲8. 3	6. 3	▲13. 3	9. 1	6. 7
	来期見通し	▲6. 3	▲25. 0	0. 0	▲40. 0	13. 6	6. 7
売上・生産 D・I	今期実績	▲2. 5	▲16. 7	12. 5	▲20. 0	18. 2	▲20. 0
	来期見通し	▲10. 0	▲16. 7	▲12. 5	▲53. 3	22. 8	▲6. 7
在 庫 D・I	今期実績	▲10. 7	0. 0	▲18. 8	—	—	—
	来期見通し	—	—	—	—	—	—
採 算 D・I	今期実績	▲12. 5	▲8. 3	▲25. 0	▲20. 0	0. 0	▲13. 3
	来期見通し	—	—	—	—	—	—
資金繰り D・I	今期実績	▲2. 5	0. 0	6. 2	▲7. 2	▲4. 6	▲6. 7
	来期見通し	▲5. 2	▲9. 1	6. 3	▲28. 6	▲4. 5	0. 0
借入金 金利水準 D・I	今期実績	6. 9	0. 0	6. 3	25. 0	5. 0	0. 0
	来期見通し	—	—	—	—	—	—

※借入金金利水準D・I値のプラス値については、借入金利が上昇したと感じた回答が多い時にプラス値で表示されます。